

出石焼

出石焼は、出石地域に根ざす独特の形状をした磁器で、透明感のある徹底した純白が特徴です。この独特の種類の磁器は、柿谷陶石から作られています。柿谷陶石は、濁りのない自然な白さで崇められ、この磁器をその象徴である澄み切った白に焼成します。この特殊な陶石のおかげで、出石焼は、滑らかできめの細かい仕上げでも名を馳せています。そのため、窯で作品を焼き上げる前に陶工が独自の仕上げをするには理想的なものとなっています。

出石焼は、1784 年に陶工の伊豆屋弥左衛門が炆器の製作を開始したことに端を発しますが、特に現在私たちが知る白磁に重点を置くようになったのは、1793 年になってからのことでした。この耐久性の高い白磁の技術は、実は、有田焼の貿易で有名だった佐賀県から持ち込まれたものです。

観光客は出石城下町周辺の小売店や土産物店で多くの地元の職人の手による出石焼を目にすることができます。出石皿そば用の皿や鉢、カップから、花瓶や風鈴などの、より装飾性の高いものまで、幅広く取り揃えています。